

第 1 1 章 啓発事業

本市では、地球環境及び地域環境の現状について多くの市民、特に次世代を担う子供たちに情報を提供することにより、市民一人ひとりが環境について関心を持ち、環境を守る取組みの第一歩を身近なところから始めてもらうきっかけづくりを目的として次のような啓発・広報活動を行っている。

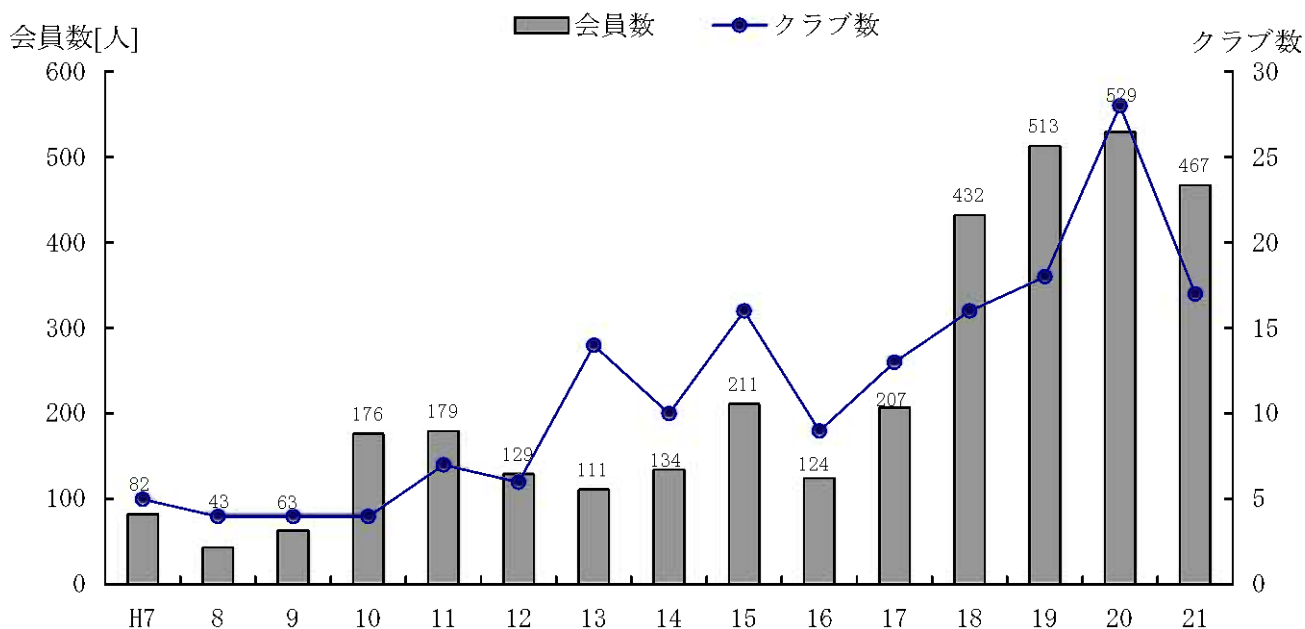
1. こどもエコクラブ

「こどもエコクラブ」は、次世代を担う子供たちが主体的に行う環境学習及び環境保全活動を側面から支援することを目的として、平成7年度から環境省が実施している。本市も平成7年7月、環境課内に「こどもエコクラブ」事務局を設置し、以来、年間6回程度の自主開催イベントによる啓発活動を展開している。平成21年度、本市からは17クラブ467人がこどもエコクラブ活動に参加した。

表ー1 平成21年度こどもエコクラブ八代市事務局における登録状況

団体名	会員数	団体名	会員数
昭和小学校エコクラブ	24	八代一中べんぺいゆエコクラブ	5
あすなる子供会	20	ひかり児童館 JEC	103
ガールスカウト熊本県第22団	18	たっくんファミリー	1
内ノ木場仲良しキッズ	10	エコファイターズ	9
植柳環境守り隊	62	NPO 法人 緑のクラブ・エスペランサ熊本	106
中田どっとねっと	2	松高エコレンジャー	5
城下ファミリーECOクラブ	1	日奈久小エコクラブ	13
宮地小学校エコクラブ	30	鏡エコキッズ5	52
日奈久小環境委員会	6		

図ー1 こどもエコクラブ八代市事務局における登録状況の推移



※平成16年度までは、(旧)八代市のデータを掲載

表-2 平成21年度子どもエコクラブイベント実績

イベント名	開催日	開催場所	参加人数
春の野鳥観察会	平成21年4月25日(土)	球磨川河口右岸	30人
干潟観察会	" 5月23日(土)	大島干潟	59人
水生生物観察会	" 7月28日(火)	水無川(ほたるの里公園)	(悪天中止)
夏のスターウォッチング	" 8月21日(金)	さかもと八竜天文台	20人
冬の野鳥観察会	平成22年2月13日(土)	球磨川河口右岸	46人
計			155人

野鳥観察会

球磨川河口に飛来する野鳥の観察を通して、干潟の役割などについて考えてもらうことを目的に球磨川河口右岸で開催。春、冬の2回開催。

講師に八代野鳥愛好会の高野先生を迎え、球磨川河口に飛来する渡り鳥について学習した後、球磨川河口右岸で観察を行った。



干潟観察会

干潟に生息する生き物の観察を通して、干潟の役割などについて考えてもらうことを目的に大島干潟で開催。

講師に県立八代高校の田畑先生を迎え、干潟や生き物について学習した後、大島干潟で生き物の観察を行った。



夏のスターウォッチング

全国星空継続観察参加に伴い、星空の観察という身近な方法による大気環境の調査を通じて市民の大気環境保全に関する認識を高めることを目的にさかもと八竜天文台で開催。

星座の話聞き、光害や双眼鏡の使い方について学習した後、橋本館長の指導のもと、天の川やこと座のベガなどを観察した。



2. 環境学習出前講座「環境ゼミナール」

(1) 目的

環境行政に携わる市職員（環境課、廃棄物対策課及び清掃センターの職員）が直接出向き、地球環境問題をはじめ、私たちの生活に身近な環境や自然の状況について事例紹介等を行い、地球環境及び本市の環境の現状について考える機会を提供する。

(2) 派遣対象

市民団体、市内小・中特別支援学校、
市内保育園及び幼稚園



環境ゼミナールの様子

(3) 内容

小・中学校等の希望する講座内容にあわせ、事前打合せを行ったうえで、簡易実験等を取入れながら実施している。また、水生生物観察会、干潟観察会等の野外活動や自然観察についても対応している。

(4) 平成 21 年度環境ゼミナール事業実績

平成 21 年度実績は 14 回、延べ 823 人に対して実施した。依頼内容としては、水環境に関する内容が多く、地球温暖化に関するものも増加傾向にある。平成 19 年度（28 回 1,683 人）、平成 20 年度（33 回 1,910 人）と比較すると件数、人数ともに減少した。

（平成 22 年度からは、市まちづくり出前講座に一本化）

3. 環境月間等

(1) 「環境月間」及び「環境の日」

6月5日は、ストックホルム国連人間環境会議の開催（昭和47年6月）を記念して決定された国連の「世界環境デー」である。日本においても平成3年度から、6月を「環境月間」とし、環境保全活動の重点推進を図っている。

また、平成5年11月に制定された「環境基本法」では6月5日を「環境の日」と定めており、国及び地方公共団体はその趣旨にふさわしい事業を実施するよう明記されている。本市としてもクリーンな地域環境を維持、向上させるため次の活動を実施した。

平成21年度「環境月間」行事

行事名	期日	内容
市職員環境行動	6月中	毎週水曜日にエコ通勤等の取組テーマを設定し、市職員の環境行動を促進した。
市広報紙掲載	6月1日	広報紙「広報やつしろ」に環境月間行事等を掲載し、広く市民に周知することで、環境保全意識の向上を促した。
市内一斉清掃	6月中	市政協力員の呼びかけにより町内の清掃を行い、生活環境の美化に努めた。
廃棄物不法投棄 合同パトロール	6月12日	通常の不法投棄監視指導員によるパトロールに加え、八代保健所及び国土交通省と合同で市内の不法投棄場所を調査・指導した。
犬のフン害防止 パトロール	6月8日 ～12日	地域を巡回し、飼主がペットのフンを適正に処理するよう、広報パトロールを実施した。

(2) 平成 21 年度「環境衛生週間」

生活環境の保全及び公衆衛生を向上させるため、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の施行日である 9 月 24 日（清掃の日）から「浄化槽法」の施行日である 10 月 1 日（浄化槽の日）までの期間「環境衛生週間」にあわせ、本市では次の活動を実施した。

平成 21 年度「環境衛生週間」行事

行 事 名	期 日	内 容
市内一斉清掃	9 月中	環境衛生週間中に市政協力員の呼びかけにより、各町内の実情に応じて一斉清掃を行った。
犬のフン害防止パトロール	9 月 24 日 ～28 日	地域を巡回し、飼主がペットのフンを適正に処理するよう、広報パトロールを実施した。
廃棄物不法投棄パトロール	週間中随時	廃棄物の不法投棄パトロールを行い、廃棄物の不法投棄防止、適正処理を促した。
環境美化推進善行者表彰	10 月 1 日	日頃から住みよいきれいな地域社会及び美しい街づくりに尽力している個人、団体を表彰し、その功績を称えた。
環境美化推進研修会	10 月 1 日	次世代のためにがんばる会松浦代表らを講師に招き、地球温暖化に関する講演会を実施した。
マイバッグ利用・レジ袋削減 ポスターコンクール表彰式	10 月 1 日	小学生を対象にポスターを募集し、その中から優秀作品を表彰し、その功績を称えた。

4. 広報活動

本市では、環境に関する身近な情報をいち早く市民に届けるため、広報紙やメディアを活用した広報活動を積極的に展開している。

また、平成 20 年度から環境情報紙「しろくまだより」を毎月 1 回、回覧している。

(1) 広報紙「広報やつしろ」

発行月日	掲載内容
4 月 1 日号	八代住宅用太陽光発電システム設置費補助 こどもエコクラブ会員募集 「春の野鳥観察会」参加者募集 生ごみ堆肥化容器等設置助成金 犬の登録と狂犬病予防集合注射
5 月 1 日号	「干潟観察会」参加者募集 騒音・振動の規制区域変更のお知らせ
6 月 1 日号	6 月は環境月間（特集）
7 月 1 日号	夏休みこどもエコクラブイベント リサイクル推進協力店モデル事業
8 月 1 日号	住宅用太陽熱温水器の設置に関する補助 「くまもとみんなの川と海づくりデー」参加者募集 雑草の刈り取りについて ポイ捨てはやめましょう！
9 月 1 日号	生ごみ堆肥化容器等設置助成金のお知らせ 地下水採取量報告書の提出依頼
10 月 1 日号	燃えるごみの減量化と資源の有効利用（特集） 10 月はマイバッグキャンペーン月間（特集）
11 月 1 日号	段ボール箱を使った生ごみ堆肥化について（特集）
12 月 1 日号	12 月は地球温暖化防止月間です（特集） 広めましょう！バイオマスの利活用（特集）
1 月 1 日号	～まちのわだい～ 子ども達の環境学習に寄付 「冬の野鳥観察会」参加者募集
2 月 1 日号	ごみの焼却は法律で禁止されています。

(2) ラジオ「FM やつしろ」による放送

放送日	放送内容
平成 21 年 4 月 13 日	浄水器設置補助と地下水採取量報告について
4 月 20 日	緑のカーテン事業について
5 月 18 日	こどもエコクラブメンバー募集と干潟観察会について
6 月 1 日	環境月間について
6 月 15 日	段ボール箱による生ごみ堆肥化について
6 月 22 日	マイバッグ・ごみ減量について
6 月 29 日	リサイクル推進協力店について
7 月 13 日	こどもエコクラブ夏季の企画イベントについて
8 月 3 日	正しいごみの出し方について
9 月 14 日	環境衛生週間について
10 月 5 日	マイバッグの推進について
11 月 2 日	バイオマスの利活用について
11 月 16 日	循環型社会について
12 月 1 日	野焼き・不法投棄防止について
12 月 21 日	年末年始のごみ収集について
平成 22 年 3 月 2 日	狂犬病予防注射について
3 月 29 日	生ごみ堆肥化容器等設置助成金について

(3) 環境情報紙「しろくまだより」

発行月日	掲載内容
4 月 2 7 日	緑のカーテン／光化学スモッグについて
5 月 2 8 日	環境の日／ホテルの観賞
6 月 2 6 日	環境保全活動に関する支援制度／犬を飼っているみなさんへ
7 月 2 9 日	太陽光発電システム設置費補助金について／太陽熱温水器設置費補助金について
8 月 2 8 日	ごみの分別／環境衛生週間と市民一斉清掃について
9 月 2 8 日	家電リサイクル法／犬のしつけ方教室
1 0 月 2 8 日	次世代自動車について／太陽光発電普及率No.1 を目指して！
1 1 月 2 7 日	学校での省エネの取り組みについて／殺鼠剤の無料配布について
1 2 月 2 5 日	八代市浄水器設置費補助金について／八代市のごみ事情
1 月 2 8 日	光熱費の削減について／資源の日の活用について
2 月 2 5 日	八代の身近な自然について／八代市のごみ事情
3 月 2 6 日	太陽光発電システム設置費補助金について／八代市浄水器設置費補助金について

しろくまだより - 第23号 -

— 温暖化で絶滅の危機『しろくま』を救え in やつしろし —

編集 / 発行 2010. 2. 25

八代市環境課 TEL33-4114



みなさん、こんにちは。冬季オリンピックでの日本人のメダル獲得で滞っていますが、気が付けば、春の気配が感じられる時期になりました。

さて、今回は、「未来に残したい自然環境」をテーマに、八代の身近な自然についてお伝えしたいと思います。

八代海の干潟

八代海に広がる干潟は、アサリやハマグリなどの漁場としてだけでなく、渡り鳥の中継地としても、超一級の場所です。この時期には、日本各地だけでなく、海外からも野鳥愛好家の方々が訪問されます。

今の時期、オオズグロカモメ、ズグロカモメ、クロツラヘラサギ、ツクシガモなどの珍しい鳥を見ることができます。

特に、オオズグロカモメは、日本でも定期的な飛来地は、球磨川河口の干潟だけで、冬に1～数羽の飛来が確認されています。



(オオズグロカモメ)

山あいの自然

本市は、7割以上が森林であり、その一部は、自然公園に指定されているなど、自然に恵まれた地域です。これらの山間には、ヒゴミズキ、カタクリ、ミチノクフクジュソウなどの絶滅が心配されている植物も生育しています。

市民が選ぶ未来に残したい自然 (情報提供のお願い)

私たちは、未来の人々のためにも、今回紹介した貴重な動植物だけでなく、八代の豊かな自然を守っていかなくてはなりません。

そこで、市では、「未来に残したい自然環境」をテーマに市民の方々からの情報提供や資料収集を計画しています。

詳細につきましては、決まり次第、「しろくまだより」や市のHPでお知らせします。



(クロツラヘラサギ)



犬のしつけ教室開催のお知らせ

八代地域動物愛護推進協議会では、犬のしつけ方教室を開催します。犬のしつけで困っている方、これから飼おうと思っている方、是非ご来場ください。(参加費は無料です。)

日時：3月14日(日曜日) 午後2時から(2時間程度)

場所：太田郷町公民館 講堂

問合せ先：熊本県八代保健所衛生環境課 (電話33-3198)

※参加を希望される方は、なるべく家族でご参加ください。また、犬の同伴はご遠慮ください。



第23号(2月25日発行)

(4) その他

やつしろ広域環境フェスタ(球磨川河川敷スポーツ公園、平成21年5月8日～10日)「九州国際スリーデーマーチ」の同時開催イベントとして実施。地球温暖化をはじめとした環境問題についてのパネル展示や環境体験コーナーのほか、環境をテーマとしたエコ・ウォーク「アルコロジー」などを行った。